

技術委員会の事業計画

1. 概要

技術委員会は、ばね業界における技術的な動向を把握し、会員企業の技術者及び技能者のレベル向上を目的とする。また、事業の柱として三つのテーマに取り組んでいく。

- (1) 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供
- (2) ばね造り技能の習得・向上及び伝承
- (3) ばね設計技術の向上

2. 事業の詳細

- (1) 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供

- ① 講習会及び見学会の開催

(アンケート等の結果からニーズを反映できるよう各支部毎に実施する。)

- ② ばねの技術相談の実施

- ③ 技術資料の機関誌ばね及びホームページへの掲載を実施する。

- ④ 日本ばね学会と連携した調査・研究の推進と会員への技術情報提供

- ・技術連絡会の実施

積極的な情報・意見の交換を行ない、活動の連携、意思疎通をはかる。

- ・2021年度の委託研究テーマは以下の通り。

「ばねのフラクトグラフィ」 (継続)

(ばね等の破面解析研究委員会の継続活動)

- ・「ものづくりセミナー」共催 (継続)

- ・「若手技術者交流会」支援 (継続)

- ・ばね学会講習会活動の支援及び連携 (継続)

- ・ばねハンドブックの第3版作成に当たり、技術的記載内容の更新協力

- (2) ばね造り技能の習得・向上及び伝承

金属ばね製造技能士の資格取得を支援する。

- ① 各支部にて講習会開催 (目標 支部毎 2回以上)

- ② 優良ばね技能者(複数の技能士資格保有者)認定者数の向上

会員会社への表彰制度周知と、技能者の資格取得の意欲向上を狙った広報活動など。

目標 工業会全体 プラチナ賞 4名以上、金賞 12名以上、銀賞 24名以上

- ③ ばねハンドブック改訂及び活用と普及促進

2020年度に実施したハンドブック読み合わせの結果等を受けて、具体的に改訂に反映する方法の検討を行う。

ハンドブックを講習会等で活用し、普及を促進する。

- (3) ばね設計技術の向上

設計技術講習会を開催する。

- ① 基礎知識習得推進(ばね技術初級講座 等 各支部技術委員会にて開催)

- ② 設計技術向上(ばね技術中級講座 等 各支部技術委員会にて開催)

- ③ 周辺技術向上(熱処理、表面処理、品質、原価関連 等 各支部技術委員会にて開催)